

## 3月定例会に提案された議案などの議決

件名	議決結果
専決処分の承認(大木町消防団員の分限及び懲戒、服務等に関する条例を一部改正)	承認(全員賛成)
大木町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例等を一部改正	可決(全員賛成)
大木町防災会議条例を一部改正	可決(全員賛成)
大木町国民健康保険条例を一部改正	可決(全員賛成)
大木町乳幼児医療費の支給に関する条例を一部改正	可決(全員賛成)
大木町はり、きゆう、あん摩等施術費の助成に関する条例を一部改正	可決(全員賛成)
大木町新型コロナウイルス等対策本部条例制定	可決(全員賛成)
大木町道路構造の基準等に関する条例制定	可決(全員賛成)
大木町水道布設工事監督者の配置等に関する条例制定	可決(全員賛成)
大木町子育て支援特別手当(第三子以降の出産祝金)支給に関する条例を廃止	可決(全員賛成)
久留米広域市町村圏事務組合規約を変更	可決(全員賛成)
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数及び規約の変更	可決(全員賛成)
町道の路線を廃止	可決(全員賛成)
町道の路線を認定	可決(全員賛成)
大木町公平委員会委員を選任	可決(全員賛成)
大木町課設置条例を一部改正	可決(全員賛成)

※件名は正式名称ではありません。(わかりやすく編集しています)

## 主な質疑・応答および補足説明

議案もしくは内容	質疑等	説明・回答等	
条例改正等	国民健康保険税条例の一部の改正	地区における巡回健康相談の折に住民に説明する  国民健康保険の財政が逼迫している中で、介護保険、後期高齢者医療制度についても同様に、町民への現状説明と支出の低減努力の説明が必要と感ずるか  全町民の過半数以下である国保加入者の保険料を、町の一般財源で2千万円も負担してもよいのか。健保や共済の加入者への説明責任は済んでいると思われるか	
	乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正	地区における巡回健康相談の折に住民に説明する  限られた財源の中、継続的に事業を実施するために、まずは保護者に大きな負担をかける入院費用への助成を今回小学校6年生の児童まで拡大する 子どもを取り巻く社会情勢を見極めつつ、大木町にとっての優先順位を確認しながら、子育て支援施策の推進に取り組んでいく	
平成25年度予算案	町民タバコ税の増収増加	— 地方を優遇する配分の見直しにより、増加した	
	児童福祉費	大莞保育所施設整備補助金は 大莞保育所の老朽化に伴う新築に要する費用を町が補助するもの	
	予防費	未熟児養育医療費助成金と特定不妊治療費補助金は 新規事業であり、未熟児養育医療は5名を予定、特定不妊治療は県の支援事業を上乗せ補助するもので10名を想定している	
	環境衛生費	合併処理浄化槽維持管理組合設立準備事業委託料は 緊急雇用対策事業の対象と考えている	
	合併処理浄化槽設置補助金	上乗補助は24年度で終了の予定では 新たに事業用を補助対象にし、補助額を変更し継続するもの	
	学校管理費	学校施設長寿命化診断業務委託の範囲は。体育館の雨漏りを早く直すべき 大溝小学校増改築2期工事は	予防的、保全的な修繕・改築と建て替えの両方の診断を行い、優先的、内容的に十分検討して、その結果に基づき計画的に改修と改築等を行っていく 要望があり、24年度に施工できなかった分の追加工事を予定
		パソコン機器リースは、各小学校と中学校で膨大な金額になると想像される、使用時間も限定的であり、安くする工夫はないか いきいき学校作り交付金の各小学校分が増額している理由は	検討していく 各小学校の登下校の時に、毎日子供たちを見守っていただいている見守り隊に、今年度に限りジャンパー等の費用の補助金を交付

## 先進地に学ぶ

### 議会基本条例について

平成24年度に設置した議会活性化特別委員会で協議研究してきた「議会基本条例及び通年議会等」について、本町議会としても一定の方向性を示すために先進地である川崎町議会を視察した。ここで条例設定までの経過と現状について説明を受け意見の交換を行った。

### 営農組織の法人化について

本町においても営農組織の法人化を推進するに当たり、地域農業の先進地である大分県日田市「大肥郷ふるさと農業振興会」を視察した。

この振興会の組織は「協同営農部会」「乾燥調整部会」「加工部会」の3つの部会で構成され、それぞれ独立採算性で運営されている。特に加工部会においては、女性が味噌加工をはじめ餅や豆腐、納豆など学校給食への提供の他、全国への販売を展開している素晴らしい組織であった。

### 街並み保存活動について

昨年の大木町景観ワークショップの取組から、うきは市の「吉井町街並み保存活動」について視察研修を行った。うきは市では筑後吉井重要伝統的建造物群、保存地区の保存修理事業、街並み環境整備事業地区の修景事業について説明を受けた。また保存地区内の780mが無電柱化事業の取り組みをされ、電線類を地中化(無電柱化)し歴史的街並みの景観向上、安全で快適な歩道空間の確保、都市防災性の向上が図られていた。

本町においてもクリニックを活かした大木町に適した景観づくりが急がれる中、大変参考になり有意義な視察研修であった。

## 総務建設産業常任委員会活動報告

### 八丁牟田駅周辺整備計画について

平成25年2月1日13時30分、建設水道課より、8月20日に八丁牟田駅周辺整備計画の説明を受けたあと、利便性向上の要望を打診していた。この日当委員会に、その回答と修正計画案が提示された。さらに町民目線で利便性が良く将来展望の開けるような町の顔である駅となるように、計画に対して活発な要望や意見交換がなされた。最後に、早期完成へ向けて努力することを執行部とともに確認した。

### 大木町認定農業者協議会との意見交換会

平成25年2月1日15時30分、くるるん研修室で、農業についての意見を交わし、次のことについて協議した。

- ① 担い手の育成について
  - ・集落営農の法人化について
  - ・人、農地プランについて
- ② 大木町農産物のブランド化について
- ③ 女性農業委員の登用について
- ④ 災害対策について(豪雨災害など)
- ⑤ 政権交代による農政への影響について

### 大木町社会福祉協議会との懇談会

平成25年2月20日に大木町社会福祉協議会と意見交換会を行い、次のことについて協議した。

- 社協事業の基本方針・重点目標
- 予算・決算構成比率
- 社協事業実績報告(特に説明を受けた内容)
  - ・配食事業
  - ・日中一時預かり事業
  - ・相談事業
  - ・ホームページ、広報紙



社協との懇談会の様子

- 九州豪雨災害ボランティアセンター支援報告
- 歳末たすけあい募金運動(中学生ボランティアの参加)

社協をめぐる環境も、介護保険制度など様々な制度改革への対応や高齢者福祉サービス、障害児福祉サービスなど、事業も多岐にわたり、厳しさを増している。行政機関や各関係団体との連携の強化がますます必要である。